



2024年1月24日

株式会社 阿波銀行

株式会社司重機建設運輸の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 福永丈久、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社司重機建設運輸（代表取締役 郷司 裕久、本社：徳島県美馬市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	株式会社司重機建設運輸
所在地	徳島県美馬市脇町大字脇町 1016 番地
代表者	郷司 裕久
業種	道路貨物運送業
設立	1976年3月3日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2024年1月24日



株式会社司重機建設運輸

代表取締役 郷司 裕久

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会	従業員のウェルビーイングの向上	心身ともに健康で、働きがいをもって働けるよう、社員の健康の維持に努めるとともに、持続可能な働き方の実現をサポートします。	① (1)ストレスチェックの実施 (2)健康診断の年度平均受診率の向上 (3)健康プログラムの提供、ジムとの提携		
			② (1)ストレスチェックの実施率100% (2)健康診断の年度受診率100% (3)2026年度までに2種類の健康プログラムを導入し、社員全員に通知		
経済	経営理念・目標の発信、浸透	経営層が自社の事業方針について社員一人一人に浸透するよう、主体的に努めます。	① (1)経営理念のHPでの公開 (2)経営理念・目標に関する社長メッセージの発信		
			② (1)2025年度までに公開 (2)2025年度までに年1回実施		
環境・社会・経済	リスクマネジメントの実施	持続的な事業活動のために、自社の業務において発生しうるリスクを認識し、あらゆる対策に努めます。	① (1)リスクアセスメントの実施 (2)リスクマネジメントに関する研修の実施 (3)リスク管理の推進		
			② (1)年間1回リスクアセスメントを実施 (2)年間1回研修を実施 (3)インシデントの発生件数5件以下		
環境	女性活躍推進	地域に根差した活動での女性の社会活躍の機会を後押し・醸成する	① (1)女性の採用を積極的に実施 (2)「くるみん」(厚生労働省)認定		
			② (1)現場管理含めて女性社員2名以上の採用実施 (2)2027年度までに「くるみん」認定企業取得		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals) とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。